

## 公益社団法人 淡路納税協会 青年部会

### 第12回「納税協会青年の集い」奈良大会に参加して

副部会長 原田 啓 行

令和元年11月19日、公益財団法人納税協会連合会青年部会連絡協議会主催による第12回「納税協会青年の集い」奈良大会に出席してまいりました。

今回の会場は、なら100年会館並びにホテル日航奈良にての開催でした。大阪国税局管内近畿二府四県10ブロック青連協からの800名を超える参加者の熱気で包まれました。

第一部式典は、納税協会連合会青年部会連絡協議会の中里副会長の開会のことば、塚本会長の開会あいさつ及び活動報告、納税協会連合会の尾崎会長のあいさつ、榎本大阪国税局長、村井奈良県副知事、西谷奈良市副市長の来賓あいさつがありました。

第二部は租税教育活動の発表が、滋賀県、京都ブロック、大阪市内ブロック、大阪府下、神戸市内、和歌山県、淡路・播磨、阪神とそれぞれの青年部会連絡協議会毎に発表がありました。

その後の第三部の講演会は、奈良県大和郡山市出身の工作機械分野における世界トップ企業であるDMG森精機株式会社取締役社長（工学博士）の森雅彦氏による「生産財メーカーからみた2030年の世界の製造業」と題して講演がありました。

生産拠点を日本、ドイツ、イタリア、ポーランド、アメリカ、中国に設けるなどグローバルな事業展開される中で、日本と外国との働き方の違い等日本と外国との違いを説明するとともに今後の世界の製造業についての講演でした。

第四部の意見交換会（異業種交流会）では、和太鼓演奏のオープニング、各ブロック青年部会連絡協議会の代表者紹介に続き、奈良県青年部会連絡協議会の中井会長の開会あいさつ、鏡開き、植野納税協会連合会副会長（奈良納税協会会長）の乾杯に始まり、終盤には、次期役員紹介、次回大会への引き継ぎ、納税協会連合会青年部会連絡協議会の池田副会長による中締めがありました。各地の青年部会メンバーと地域貢献、納税協会活動の活発化などについて意見を交わすことができ、刺激を受けるとともに、感銘を受けた充実した1日でありました。

次回開催は、大阪大会であります。来年も淡路納税協会青年部会の多くのメンバーとともに参加して、見識を深める一助にしたいと考えています。



## 淡路地区青色申告部会連合会

### 実務者研修会

洲本商工会議所 橋本 正 信

令和元年11月11日(月)、淡路納税協会において、淡路島内の商工会議所・商工会の職員を対象にした淡路地区青色申告部会連合会の実務者研修会が開催され、午前・午後の部併せて34名の参加者が講師の説明に熱心に聞き入っております。

講師を務められたのは木山勝博 洲本税務署個人課税第一部門統括官で、国税庁の「よくわかる消費税軽減税率制度」等の資料に添って解説をして頂きました。

今回の研修会では消費税法の改正がテーマとなりました。まずは軽減税率の対象品目について、その範囲や一体試算の取り扱い、外食・ケータリング等における適用税率の違いを確認しました。

軽減税率制度の導入に伴う帳簿と請求書の記載事項の追加点も併せて確認し、税率ごとに区分して合計した税込み対価の額を請求書に明記しなければならない点は特に注意しなければならないと思いました。消費税の税額計算の特例については、簡易課税制度の届出の特例と併

せて学びました。

令和5年10月より導入されるインボイス制度に関しては、適格請求書の交付方法の特例を中心に確認。令和元年10月1日を含む課税期間の消費税率区分の確認も行い、9月30日までの旧税率と軽減税率とは同じ8%ですが、地方消費税率が異なっていることに注意を要すると思いました。

最後に消費税率の改定に伴うキャッシュレス・消費者還元事業に関連して、還元ポイントの税務上の処理についての解説がありました。こちらはあくまで理論上の話と前置きした上で進められましたが、申告業務において対応が必要な場面が現れるかもしれないと思いながら聞いておりました。

税務当局の担当者が毎回ホットな論点を解説して下さる実務者研修会。今回の研修で得た知識を日々の業務で生かしていかなければならないと感じました。

